

日本の

SC Shopping Center

●丸の内オアゾ●

オンとオフの知的オアシス街

JR東京駅の正面、丸の内地区の表玄関にあたる、千代田区丸の内1丁目に新しいランドマーク「丸の内オアゾ」が2004年9月14日(火)、生まれた。オフィス、ホテル、商業施設、3つの機能が複合した、敷地面積約23,800㎡の一大街区を形成している。オアゾ(oazo)は、エスペラント語でオアシスの意。都会のオアシスを目指した「丸の内オアゾ」は、丸の内、大手町で働くビジネスマンのオンタイムだけでなく、ここを訪れる方々のオフタイムにも対応している。



新丸の内センタービル(右)と丸の内北口ビルに挟まれたギャラリー



右手下層階には「丸善・丸の内本店」が、上層階には「丸の内ホテル」が入っている



メインエントランス(右)から入ってすぐのアトリウム



宇宙航空研究開発機構「JAXA i」には宇宙服も展示されている



200インチのデジタルマルチビジョンと右手1階にある「日経ノティオ」からは経済を中心とした、さまざまな最新の情報が流れている。2階には「JAXA i」



JR東京駅(奥)からは地下で繋がっている。ここを通過して大手町方面に行く、新しい流れに対応したカジュアルフードショップが集積



コーヒーの最高の抽出方法と言われているネルドリップで提供するトリコロールの「COFFEE MACHINE」



東急ハンズが展開する、ビジネスバッグやトラベル用品を取り揃えた「アウトパーツ」と美容と健康に関する商品を幅広く取り揃えた「ナチュラボ」が同居した「ナチュラボ アウトパーツ 丸の内店」



7階から17階にある「丸の内ホテル」の atrium



「丸善・丸の内本店」窓際(JR側)には読書用のイスとテーブルがある



万年筆専門コーナー。丸善の中にある



蔵元直送の日本酒が楽しめる「蔵人厨 ねのひ 丸の内店」



都市の緑化機能を果たす約640㎡の屋上庭園